



**2024年度 第20期
事業計画書（案）**
2024年3月10日総会資料

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F

TEL : 03-6321-8948

Email: info@ftcj.org

URL : <https://www.ftcj.org>

1. 2024年度 事業実施方針

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、1999年の設立当初から、子どもが声を上げ、その声に耳を傾けることができる社会を創ることを目指してきました。その歩みは今年2024年で25年を迎えます。四半世紀に渡って活動を続けてこられたのは、ひとえにともに歩んでくださる多くの方々の存在とご協力のお陰だとつくづく感じています。まずはいつもともにいてくださる皆さまに心より感謝申し上げます。

25年活動を続けて嬉しい変化として感じることは、日本社会で子どもを権利の主体として尊重しようとするおとなの存在がここ数年で劇的に増えたことです。特に、行政に関わる方たちの中で子どもの声を聴くことの重要性が認識され始めていることは非常に喜ばしいことです。しかし、まだまだ日本の子どもを取り巻く環境は厳しいものと言わざるを得ません。日本で2023年に自殺した小中高生は2022年に続いて500人以上だったと警察庁・文科省から発表されました。

また、国外に目を向けると、人々の人権が踏みにじられている状況が深刻化しています。世界ではウクライナやガザ地区以外にも多くの地域で武力衝突は起きており、その一つとして「コンゴ民主共和国(コンゴ)」があります。コンゴ出身の元子ども兵士であり活動家であるミシェル・チクワニネさんとフリー・ザ・チルドレン・ジャパンは長年連携し、情報交換をしていますが、2024年からコンゴの人々の自立支援活動をスタートさせたいので協力してほしいという要請が届きました。

そこで、25周年を迎えたフリー・ザ・チルドレン・ジャパンとしては、国内外の子どものウェルビーイングの実現に向けて、事業を展開していきたいと考えています。また、今年子ども権利条約が日本で批准され30周年でもあるので、子どもの権利実現のための設立25周年特別事業を実施予定です。ぜひ多くの皆様にご参加いただけますと嬉しいです。

▼2024年度重点活動

1. 小学生を対象とした子どもの権利の実現とウェルビーイング向上のための教材開発と子どもや若者を対象にしたワークショップやイベントの実施
2. 日本の子どもの声が聴かれる社会の実現に向けた行政や教育機関をはじめ、様々な組織との連携(コンソーシアム運営)
3. 子どもによる政策提言活動の環境整備と支援
4. コンゴの人々の自立支援におけた国際協力活動の開始
5. 国際協力活動の現地パートナー団体との中長期計画の策定

以上、改めまして、FTCJを応援しともに歩んでくださるメンバーやサポーターなどすべてのご協力くださる皆さまに心より感謝いたします。2024年度もどうぞよろしく願いいたします。

代表理事 中島早苗

2024年度事業実施に関する計画（案）

<WE Movement>

・子ども主体活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
子ども アンバサ ダー 企画活動	2024年のアンバサダー（旧子ども代表委員）を募集し、アンバサダーがファシリテーターとなってフリー・ザ・チルドレンのメンバーを繋ぐイベントを実施できるようにする。また、自分がおこなったソーシャルアクションをブログやSNSで発信する取り組みも促す。また、アンバサダーは総会へ出席し組織運営について意見することができる。	通年	全国	子どもメン バー 約800人～	1000
メンバー チーム活動	メンバー登録する子どもやユースが目的に応じてチームを組んでの活動する。 ▼チョコレートプロジェクト ▼その他	通年	全国	子どもメン バー 約800人～	500

・子ども活動応援

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
子ども若者 育成	【Take Action Campの実施】 日本国内でキャンプを実施する。 (Take Action Campとは、子どもや若者が国内外の社会問題を知り、その解決に向けてアクションをおこなすためのノウハウを学び、自分に何ができるかを考えるための合宿型育成研修イベント)	夏休みに 3泊4日 の合宿型 を実施	日本	国内の子ども 50人	3,000
	【ティーンボイスプロジェクトの実施】 (国立成育医療研究センターとの協働事業) コロナを振り返り、調査し、提言する子ども若者による政策提言活動の実施。そのために3月の春休みに合宿を行い、その後オンラインで伴走支援をし、イギリスの若者とも交流しながら、国内外で子どもの声を聴き届ける活動を行う。	1月～10 月	日本	16名+日本の 子どもたち	3,000
	【ファシリテーター育成活動】 リーダーシップトレーニングキャンプやワークショップを実施するためのファシリテータースタッフの育成をする。子どもの権利を理解、尊重し、子どもに接することができるような人材育成をする。また、育てたファシリテーターの活躍の場を提供する。	通年	主に 東京都	全国のユース 30人	1,000
	【スタディーツアー】 フィリピンの支援先を訪問するスタディーツアーを、春休み中と夏休み中に実施予定。約1週間支援先の現地を訪問し、現地の子どものとの交流や国際協力について学び考える。	3月	フィリ ピン	中学生以上18 名	2,500
	【We are the MOVEMENT】 子ども・ユースメンバーからプロジェクト企画を募り、選考し、選ばれたプロジェクトの実施のサポートを事務局で行う。子どもや若者が主体的に社会問題に取り組む担い手となれるよう支援する。採用プロジェクト数は6件を予定。	通年	全国	チームに所属 する 全国の子ども 約100人	1,500

子どもメン バー 活動サポ ート	【子どもメンバーのギャザリング・交流の場づくり】 年に1回同窓会、活動発表の場を設け交流を図る	通年	全国	子どもメン バー (約800人 ～)	300
	【全国の子どもメンバーからの質問対応、活動へのサポート】子ども世代からの質問対応、情報提供、子どもが活動しやすい会員制度の検討 ①アクションキットを使いアクションを促す ②フードドライブアクションキャンペーンの強化。秋にフードドライブキャンペーンを強く打ち出し、各地で子どもたちがフードドライブアクションを起こせるようなサポート・PRを行う。 ③「広げよう！子どもの権利条約」キャンペーンと連動して子どもメンバーが政策提言に関わるためのキャンペーン活動を強化する。 ④子どもや若者が参加したり登壇したりする機会を提供したり、支援したりする。	通年	全国	子どもメン バー (約800 人～)	1,500

・外部ネットワーク活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
外部ネット ワーク構築	①CL-Net(児童労働ネットワーク)・NGO労組協働 フォーラムへの運営委員参加と事業実施 ②JNNE(途上国の子ども教育支援事業NGOのネットワーク)への運営委員参加と事業実施 ③他組織の会員になって他団体と繋がって活動する。(新 公益連盟、SDGsネットワーク等) ④「広げよう！子どもの権利条約」キャンペーンの運営と 参加 ⑤フェアトレードタウンを世田谷で推進するためのネット ワークへの参加 ⑥関西や新潟でのNGO/NPOネットワークへの参加	通年	全国	子どもの権利 を 侵害されてい る 開発途上国及 び国内の子ど も	2,000

・アドボカシー（啓発）活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
出前授業	全国出張講演（国際協力や国際理解教育、人権教育に関心のある学校や地域、自治体、団体などからの要請を受け、出張講演を実施する。） 2024年目標：オンラインオフライン計1万人へ実施する。	通年	全国	全国の子ども・一般人： 10,000人 教員：100人	5,000
FTCチェンジメーカー教育プログラム	①子どもの意見聴取 子どもの意見聴取をサポートする研修・システムの構築 ②教材開発 wellbeing、子どもの権利条約についての教材開発・改定を行う ③学校連携強化 全国の学校など教育機関に、チェンジメーカー教育プログラムの周知を行い、学校登録を促す。学校との連携事業を強化する。 ④キャンペーンキット バースデードネーションのキャンペーンキットの開発を行う ⑤上記内容管理・既存の教材の情報更新	通年	全国	全国の子ども達・一般人： 10,000人 教員：100人	3,000
出版	子どもの権利や子どもの基本法を子どもに分かりやすく伝えるための書籍執筆を行う。	通年	全国	全国の子どもやその家族、子どもに関わるおとな5千万人	1000
物販	貧困層の自立につながるフェアトレード商品や国際理解教育教材（DVD）や書籍などの仕入れ、紹介、販売、管理を行う。また店舗での委託販売先の開拓も開始する。 ①児童労働シミュレーションカードゲーム等の教材販売促進キャンペーンを実施 ②子どもが文化祭等で販売する商品の開発の継続 ③オンラインショップを通じた販売の促進	通年	全国	全国のメンバー 800人～ 購入者 100人～	830
イベント	他団体主催によるイベントへの参加及びFTCJ主催イベントの開催 ①他団体主催イベント パネル展示、動画上映、スピーチなどを通して、権利を奪われた子どもの現状や団体活動紹介をする。同時に物販活動も行う。 (子どもの権利条約フォーラム、グローフェス、ワンフェス、ユースワンフェス、サンタラン、愛地球まつり、世田谷区国際メッセ) ②FTCJ主催イベント 25周年を機に、子どもの権利やウェルビーイング実現に向けたイベントを実施する。Fesとの連動全国イベントとして開催する。 プロギング、街頭募金、活動報告会他	通年	全国	全国の子ども・一般 10,000人	2,000
メールマガジン/ ニュースレター/ ニューズア ニユアルレ ポート発行	①メールマガジンを毎月2回発行する。 ②ニュースレター（年3回）を発行する ①アニュアルレポート（年1回）を発行する。（各750部）	通年	団体 オフィス	全国の子ども達 ・一般 3,000人	400

SNS	子ども・若者メンバー向け情報発信ツール構築・発信を行う。 SNSを利用して活動内容を発信していく。	通年	団体 オフィス	子どもメン バー（約800 人～）	1,200
webサイト	①子どもを対象にしたウェブページの構築を行い、適切な情報が届くようにする。 ②支援先の情報、子どものアクションの情報を随時発信していく ③学校、自治体、企業などセクター別に分かりやすく情報を発信できるように改定する。	通年	団体 オフィス	全国の子ど も・教育関係 者・その他一 般10,000人	2,500
問い合わせ 対応／オ フィス訪問 対応	学校単位での訪問・インターンの受け入れ、 ボランティア、来客対応	通年	団体 オフィス	月1回ボラン ティアデー、 事務所訪問な ど	100

・ Change Makers Fes

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
Change Makers Fes24開催	社会貢献活動をおこなった子どもや若者をエンパワーする Fesを10月23日にてZepp羽田にてハイブリッド実会場開 催する。	1～3月	全国	全国の子ども 達 1,000人～	15,000
Change Makers Fes25開催	2025年度会場開催に向けた準備	通年	全国	全国の子ども 達 2,000人～	500

自立支援事業：Free The Childrenプログラム
・海外事業

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
インド	【CCD支援】 西ベンガル州コルカタ付近にある現地NGO・CCDを通じて貧困地域へ教育支援や食糧支援、収入や保健向上事業を行う。	通年	西ベンガル州	貧困地域4000人	300
	【リムラスクール支援】 マハラシュトラ州ムンバイ市内スラム地域の子どもの対象にした小学校リムラスクールに通う生活困窮家庭への奨学金支援の実施の可能性を探るため調査をする。	通年	マハラシュトラ州	スラム地域に暮らすムスリムの子ども15人	200
フィリピン	【ミンダナオ島コミュニティ支援】 手紙を通じた交流「文通プログラム」の運営を通じた資金や助成金、寄付金をもとに、先住民族の子どもが通う学校にトイレや手洗い場設置を行う。	通年	フィリピン ミンダナオ島	先住民族の子ども達120人	1,000
	【プレダ基金子ども支援】 フィリピンのパートナーNGOプレダ基金を通じて、虐待を受けた子どもや、路上生活を強いられたり、法に抵触した子どもの自立に向けた包括的な支援を行う。	通年	ルソン島	虐待や刑務所から救出された子ども200人	300
	【障害者支援】 視覚障害のある低所得家庭の子どもを対象に、教育支援を行う。	通年	フィリピン	100人	50
ケニア	【FTCネットワーク活動】 ナロック群南ナロック県内の先住民族コミュニティを対象に、人々の健康向上のための包括的な保健支援を行う。また、先住民族の女の子が質の良い教育を受けられるよう、女子教育拡充支援を行う。	通年	ケニア	支援先農村の村民1500人	300
コンゴ民主共和国 (DRC)	【農業支援】 コンゴのキブ州のコミュニティにいる農村貧困家庭を対象に、持続可能な農業支援を行い、子どもの栄養向上を行う。	通年	DRC	100人	1,500

・国内事業

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
国内の 子ども支援	【キャンプ・スカラシップ支援】経済的な理由などでキャンプへの参加をあきらめざるを得ない子どもを対象に無料で参加できるよう支援する。 【教育応援金支援】ひとり親家庭や新型コロナウイルスの影響を受けた世帯、その他様々な理由で家計がピンチな状況にある世帯の子どもを対象に教育応援金の提供を実施。	通年	全国	経済的課題に直面する国内の子ども160人	1,500

管理部・その他 この法人の目的を達成するために必要な事業に関する計画

管理部

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業予算(千円)
翻訳	事業の運営に係る資料を日・英に翻訳	通年	東京	30	50
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため研修を受講 事業実行のためのスキルアップ	通年	東京	8	50
個人情報管理	メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行う	通年	東京	4	100
ファンディング	サポーター増強のためのWEBサイトの更新、googleアナリティクス運用など ①キッズパワー募金の広報 団体の活動をわかりやすく伝え、団体を支えていただく人を増やしていく	通年	東京	3	200
広報・ブランディング	広報が担当となり、計画的な広報を実施	通年	東京	3	200
問い合わせ対応	事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	300
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し、税務関係資料作成や帳簿を付けるなどの業務を実施	通年	東京	2	2,000
制度	チャイルドプロテクションからセーフガーディング作成	通年	東京	3	100
理事会・事務局運営	・中長期計画に基づき、連携をする。 ・事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	50
その他	オンラインで労働環境の構築（ZOOMやバーチャルオフィスの利用等）	通年	東京	5	50

3 2024年次の役員に関する事項

a) 理事会役員について 理事会より2024年次の理事および監事の候補の方々を紹介します。(順不同)

新・継続	氏名	役職	居所	紹介文
継続	中島 早苗 (なかじま さなえ)	理事 【代表】	新潟	FTCを日本で紹介しFTCJを1999年に設立して以来、活動に従事。04～05年度代表理事に就任後06～09年度に副代表理事兼事務局長に就任、10年度から代表理事に再任。
継続	原元 望 (はらもと のぞみ)	理事 【副代表】	山口	2000年の高校生時代から活動に従事。2010年まで理事を務め、2011～2021年度まで事務局長として事務局全体の運営や組織基盤強化を担当する。2013年「アユスNGO新人賞」を受賞。
継続	出野 恵子 (いでの けいこ)	理事 【事務局長】	東京	03年度より海外自立支援のインドを担当し、活動に従事。07年度より理事に就任。09～11年度まで事務局長を兼任し国内事業のほか組織基盤強化を担当。副代表理事を経て、22年より事務局長に再任。
継続	伴野 保志 (とも の やすし)	理事	東京	2000年から活動に携わり、04～05年度に副代表理事に就任後06～09年度まで代表理事に就任。事務局では外部ネットワークリーダーや、総務担当として活動。10年度から副代表理事に就任。その後2018年より理事に就任。
継続	藤井 裕子 (ふじい ゆうこ)	理事	兵庫	2007年にフィリピンへのスタディツアーに参加して以来、正会員として団体の組織運営を始め、関西での子どもの活動や出張講演サポートなど活動に従事。2016年から理事に就任。
継続	志賀 アリカ (しが ありか)	理事	長野	09～11年度まで子ども代表委員として活動に参加し事務局運営や子ども主体事業企画運営に携わり、子どもメンバーとして積極的に活動を展開。2012年よりユース理事に就任。16年より社会人理事。
継続	林 大介 (はやし だいすけ)	理事	東京	東洋大学社会学部助教、子どもの権利条約ネットワーク事務局長、川崎市子どもの権利委員会委員、模擬選挙推進ネットワーク事務局長等を就任。1976年東京生まれ3児の父親。FTCJにおける子どもの権利推進擁護活動の充実のため、2017年度より理事に就任。
継続	中島 慎治 (なかじま しんじ)	理事	新潟	1999年にフィリピンの子どもの権利活動家の少女ピア(商業的性的搾取の被害者だったが12才の時FTCJのパートナー団体ブレダ基金に保護され活動家に) 来日時のドキュメンタリー番組を制作したことからFTCJと接点を持つ。NHK報道局チーフプロデューサー。2019年から理事に就任。
継続	松下 耕二 (まつした こうじ)	理事	東京	阪神淡路大震災でACのTVCMを見て、高校生ボランティアに参加。世界を良くするためにCMプランナーを志す。広告会社に勤務。2019年MBA取得、修士論文は「非営利組織の経営戦略」。2児の父。2020年度より理事会より理事に就任。
継続	倉下 由香 (くらした ゆか)	監事 (会計)	東京	2011年度より事務局の会計スタッフとして5年間勤務し、FTCJの活動を支えた。2018年度より新たな会計監事に就任。
継続	宮島 珠 (みやじま たま)	監事 (会計)	神奈川	NPO法人取得から会計監査としてFTCJの活動を支えたのち、2019年の休みを挟み、2020年度より再度会計監事に就任

b) アドバイザーの紹介

◆長田 和弘(おさだ かずひろ) 税理士、中小企業診断士、准認定ファンドレイザー

税理士法人勤務を経て2019年2月長田和弘税理士事務所を開業。中小企業・NPOに対するクラウドソフトによる会計支援、業務効率化支援を中心に実施。経営計画策定支援、資金調達支援、助成金・補助金申請、認定NPO支援などを得意とする。

◆河合 将生 (かわい まさお) 氏

NPO・NGOの組織基盤強化やファンドレイジング、マネジメントのコンサルタントや、組織の協働・連携のコーディネート及び国際協力やキャリア育成に関する相談・講演を行うoffice musubimeの代表

◆平尾潔(ひらおきよし) 弁護士

日本弁護士連合会所属、世田谷区せたがやホッと子どもサポート委員。

◆堀内 光子 (ほりうち みつこ) 氏

労働問題や女性の権利の分野での研究・専門家。公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 理事長、地球憲章国際審議会委員、児童労働ネットワーク代表。また、2006年よりフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動をサポート。